お買い上げの自転車にお乗りになる前に、このマニュアルに記載された警告や説明をしっかりお読みください。
ようこそ

トレックのバイクファミリーへようこそ

ご購入いただき、誠にありがとうございます。
私たちは自転車の可能性を信じ、いつまでも乗れる高性能な自転車を作っています。
このため、私たちの製品には長く安心してお楽しみいただくような保証をご用意しております。

あなたがこの自転車に乗る、サイクリングを一生懸命お楽しみいただけることを願っています。
もし、お乗りの自転車に問題が生じた場合は、最寄りの販売店まで遠慮なくご連絡ください。

www.trekbikes.com

www.electrabiike.com
内容

ようこそ .................................................................................................................. 1

お乗りになる前に読みください........................................................................... 3

ドライブユニット .................................................................................................. 5

Intuvia コントローラー ..................................................................................... 13

Powerpack .......................................................................................................... 27

充電器 ................................................................................................................ 39

お問い合わせ先 .................................................................................................... 51
お乗りになる前にお読みください

重要事項を以下に記載します

1. 自転車を長年に渡りお乗りになられている方でも、eBike パイクをお乗りになる前に、総合版「バイシクルオーナーズマニュアル」とこの自転車に特化した「eBikeオーナーズマニュアル」をよくお読みください。
   - どちらのマニュアルにも、お乗りの自転車に関する詳細情報や役立つヒントが記載されています。
   - eBike の電動システム各構成部品に関して、正しい使用、整備、廃棄方法をしっかりと理解してください。

2. 安全を確保しましょう。あなただけでなく、他の道路の利用者も安全であることが重要です。
   - パッテリーバックを外した状態で電動自転車に乗らないでください。パッテリーバックは、この自転車の走行に必要であり、脱落してしまうと危険になります。
   - サドルにない状態で電動自転車に乗らないでください。シートポストクイックリリースが偏っていると自転車も危険です。
   - サドルが外れている場合に、事故などの危険な状況が発生する可能性があります。
   - 走行前に、乗りの自転車が正常に動作し、各部に緩みや異常がないことを確認してください。異常がある場合は、走行する前に販売店で修理してください。
   - 他の道路利用者は、電動自転車が通常の自転車より速く走れることを知りません。また、速く走ると、事故の可能性も高まります。
   - 荒れた道路は避けください。乗りの自転車に合った環境で走行しましょう。条件1（舗装路、タイヤは接地）
   - eBike シティトレイリングバックに適しています。条件2（舗装路、タイヤは接地）は、eBike マウンテ
   - ティングバックに適しています。詳しくは、総合版オーナーズマニュアルをお読みください。
   - リアサドルへの過積載はお止めください。eBikeのリアサドルの最大積載量は、バッテリーバックをリアサドルに搭
   - 載するモデルで20kg、ダウングリップバッテリーを搭載するモデルで25kgです。リアフェンダー両側に荷物ラックを
   - 搭載する場合やトップデッキにものを乗せない状態での最大積載量は、合計で15kgです。

3. お乗りの自転車の電動システムには、特別な配慮が必要です。
   - 高圧洗浄機で電動自転車を洗浄しないでください。電動システムのあらゆる部位が水分に弱いためです。
   - ウォータークリーニングバックは、水洗いの周りのコネクタや他の部品に水が入ることを考慮して下さい。
   - パッテリーバックは丁寧に扱いましょう。落下したり衝撃を与えないとください。パッテリーバックを不適切に扱
   - とに大変な損傷や過熱にすることがあります。極端な場合、激しい衝撃を受けるなどするとパッテリーバックは
   - 発火する恐れがあります。パッテリーバックに衝撃を与えた可能性がある場合は、早急に販売店で検査
   - してください。

4. パッテリーバックは、RIDE+ オーナーズマニュアル内の指示通りに整備してください。
   - 指示に従わないと、パッテリーバックが損傷し、交換する必要も発生します。
   - パッテリーバックの充電は、付属のBosch 充電器でのみ行ってください。
   - パッテリーバックを長期に使用しない場合は、約60%（充電量インジケーターでLEDが3から4個点灯）まで充電し
   - てください。6ヶ月後に充電状況を確認してください。LEDが1個しか点灯しない場合は、再び約60%まで充電してく
   - ださい。
   - パッテリーバックを充電器に接続したまま放置することは推奨しません。
   - パッテリーバックを放電した状態で、放置すると、自然放電量がわずかにもかかわらず、
   - パッテリーバックの性能を及ぼし、パッテリーバックの寿命が大幅に減少します。
   - パッテリーバックは、十分乾いた通気の良い場所で保管してください。湿度や水分を避けてください。
   - 悪天候の場合は、パッテリーバックを再充電するまで自転車から取り出し、密閉された場所に保管
   - してください。
   - パッテリーバックは、-10℃から+60℃までの温度で保管してください。パッテリーバックは、必ず室温が20℃で
   - 保管することが重要です。
   - 保管温度を超えるように注意してください。例として、夏の自動車内に放置せず、直射日光が当
   - たらないようにしてください。
   - パッテリーバックは自転車から外して保管しましょう。
5. eBikeの持ち運びにはご注意ください。
- eBikeは通常の自転車より車重があります。自動車で持ち運びになる際は、自動車のルーフや牽引用フックなどバイクキャリアの最大積載量にご注意ください。詳しくは、自動車とバイクキャリアのマニュアルをお読みください。
- 自動車を運転する際は、コントローラー、バッテリーバック、バニア（搭載している場合）を自転車から取り外し車内に保管してください。
- 自転車（電動含む）を持ち運ぶ際は、お住まいの地域の法律に従ってください。
- この規格と電力のリチウムイオンバッテリーバックは「クラス9危険品」に指定されているため、リチウムイオンバッテリーを外して輸送することを原則で禁止する地域もあります。この規則は、ほとんどの航空会社と運送会社で適用されます。しかし、eBikeを完成車のまま（バッテリーバックを搭載した状態で）発送または携行する場合、この規則は緩和されます。予め、eBikeの完成車の運搬が認められているかどうかを航空会社または運送会社に必ず確認してください。

6. 販売店で、お乗りの自転車を定期的に整備してもらいましょう。
- 自転車の安全性と正しい機能を確実にするため、最低でも年に一度、eBikeを販売店で定期整備を受けてください。
- 販売店には、eBikeを正しく整備できる知識と道具があります。
- eBikeに関してご質問がいる場合は、販売店に尋ねましょう！

限定保証
お乗りの自転車には限定保証が付いています。詳しくは、当社ウェブサイトをご覧ください。
Active Line Plus

Drive Unit 24 km/h
BDU 350

日語 取扱説明書
安全上のご注意

安全上の注意事項と指示にすべて目を通してください。安全上の注意事項と指示を守らないと、感電、火災および／または事故を招くことがありますのでご注意ください。

すべての安全上の注意事項と指示をしっかり守ってください。

本取扱説明書で使用されている「バッテリー」は、ポッシュの純正電動アシスト自転車専用バッテリーに該当します。

ドライプユニットを分解しないでください。ドライプユニットの修理は必ずお買い求めの販売店、または電動工具サービスセンターにお申し込みください。専門知識を備えた担当スタッフが純正交換部品を使用して作業を行います。これによりドライプユニットの安全性が確実に保たれます。ドライプユニットを無断で分解した場合、保証が適用されなくなりますのでご注意ください。

ドライプユニットに取り付けられているすべてのコンポーネントと電動アシスト自転車のドライプユニットの他にコンポーネント（チェーンリング、チェーンリングキャリア、ペダルなど）は、同じ設計のもと、もしくは自転車メーカーがその電動アシスト自転車向けに特別に認定しているコンポーネントと必ず交換してください。これにより過負荷や損傷からドライプユニットを守ることができます。

電動アシスト自転車で作業（点検、修理、組立）を行う場合、自動車や航空機で輸送する場合、または保証した場合には、事前に電動アシスト自転車からバッテリーを取り外していただく。電動アシスト自転車が誤って作動してしまうと、怪我につながるおそれがあります。

電動アシスト自転車を後方に引いて歩いたり、ペダルを後ろに漕ぐと、電動アシスト自転車がオンになる場合があります。

メーカーが電動アシスト自転車に認めているポッシュの純正バッテリーのみを使用してください。他のバッテリーを使用すると、感電や火災につながるおそれがあります。他のバッテリーを使用した場合には、ポッシュが保証を認められ、責任を負うことはありませんのでご注意ください。

自転車を走行後に、何も保護していない手や脚でドライプユニットのアルミハウジングに触れないようにしてください。低速走行時、または上り坂や重い荷物を乗せた状態で走行中に高トルクを保つといった極端な条件では、アルミハウジングが非常に高温になるおそれがあります。

ドライプユニットのハウジングの温度は、以下の要因の影響を受けます。
- 周囲の温度
- 走行した地形（距離／傾斜）
- 走行時間
- サポートモード
- ユーザーの行動
- 総重量（ドライバー＋電動アシスト自転車＋荷物）
- ドライプユニットのモーターカバー
- 自転車フレームの放射性
- ドライプユニットの種類とシフトの種類

電動アシスト自転車を決して改造しないでください。また、電動アシスト自転車の出力性能を高めるような他の製品を取り付けないでください。そうした行いを行うと、システムの寿命が短くなることが多く、ドライプユニットとホイールが損傷する危険も高まります。また、購入されたホイールが保証対象に含まれないのを恐れありません。自転車を不適切に取り扱った場合、ユーザーが他の道路使用者を危険に晒すだけでなく、改造が原因となる事故が発生するリスクや個人賠償責任にかかる費用が高くなり、刑罰が適用されることがあります。

電動アシスト自転車の許可と使用に関する地域のすべての規制を厳守してください。

電動アシスト自転車システム、および電動アシスト自転車本体の取扱説明書に記載されている安全上の注意事項をよくお読みください。

製品および性能について

用途

ドライプユニットはあくまで電動アシスト自転車を動かすためのもので、他の用途には決して使わないでください。

ここに記載された機能のほか、不具合を修正したり、機能を拡充するためにいつでもソフトウエアが変更される可能性があります。
構成図の内容
図のコンポーネントの番号は、本取扱説明書の冒頭にある図のページの内容に従っています。
本取扱説明書の各説明は、ご利用の電動アシスト自転車の仕様により、状況に合わせて若干異なる場合があります。
1 ドライプユニット Active Line Plus
2 速度センサー
3 速度センサー用マグネット

仕様

<table>
<thead>
<tr>
<th>ドライプユニット</th>
<th>Active Line Plus</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>製品コード</td>
<td>BDU350</td>
</tr>
<tr>
<td>連続定格出力</td>
<td>W 250</td>
</tr>
<tr>
<td>ドライプユニットの最大トルク</td>
<td>Nm 50</td>
</tr>
<tr>
<td>定格電圧</td>
<td>V= 36</td>
</tr>
<tr>
<td>使用温度範囲</td>
<td>°C -5 ～ +40</td>
</tr>
<tr>
<td>保管温度範囲</td>
<td>°C -10 ～ +50</td>
</tr>
<tr>
<td>設備クラス</td>
<td>IP 54（防滴型）</td>
</tr>
<tr>
<td>重量（概算）</td>
<td>kg 3.3</td>
</tr>
</tbody>
</table>

ポッシュの電動アシスト自転車には FreeRTOS が使用されています (www.freertos.org を参照)。

自転車用ライト1)

<table>
<thead>
<tr>
<th>電圧 (V)</th>
<th>最大出力</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ヘッドライト</td>
<td>W 17.4</td>
</tr>
<tr>
<td>テールライト</td>
<td>W 0.6</td>
</tr>
</tbody>
</table>

1) 適用される法規制によって、国別仕様の電動アシスト自転車専用バッテリーが対応していない場合があります。
2) バルブを交換する場合は、ポッシュの電動アシスト自転車のバルブ互換性があるか（詳細については正規販売店にお問い合わせください）。また確認されているかを確認してください。使用できるのは、同じ種類のバルブのみです。

速度センサーの点検（図 A 参照）
ホイールが回転する時、速度センサー 2 とセンサー用マグネット 3 の間が 5 ～ 17 mm 空くように取り付けてください。

備考：速度センサー 2 とマグネット 3 の間の距離が大きすぎる、または小さすぎると、速度センサー 2 が正しく検知されないため、タコメーター機能せず、電動アシスト自転車が緊急モードで作動することになります。
こうした場合には、マグネット 3 のネジを緩め、速度センサーのマークと適度な距離を保つ状態でマグネットをスナップ固定してください。それでもタコメーターに速度が表示されない場合には、正規販売店にご相談ください。

操作

使用方法説明

前提条件
電動アシスト自転車は、以下の前提条件を満たした場合にのみ作動することができます。
- 十分に充電したバッテリーを装着している（バッテリーの取扱説明書を参照）
- 車載コンピューターがホルダーに正しくセットされている（車載コンピューターの取扱説明書を参照）
- 速度センサーが正しく接続されている（(速度センサーの点検、ドイツ語ページ日本語-2）

電動アシスト自転車のオンオフ
電動アシスト自転車は以下のように行ないことができます。
- ホルダーにセットされた車載コンピューターがす
- すでにオンになっているければ、電動アシスト自転車は自動的にオンになります。
- 車載コンピューターをセットし、電動アシスト自
- 転車用バッテリーを装着してから、車載コン
- ピューターの ON/OFF スイッチ を短く 1 回押します（車載コンピューターの取扱説明書を参照）。
- 車載コンピューターを装着した状態で電動アシス
- ト自転車のバッテリーの ON/OFF スイッチを押
- します（自転車メーカーのソリューションによって
- はバッテリーの ON/OFF スイッチにアクセスでき
- ない場合があります）。バッテリーの取扱説明書を
- 参照してください。
- ペダルを踏むとモーターが作動します。サポートレ
- ベルは、車載コンピューターの設定に合わせて調整されます。

取り付け

バッテリーの装着／取り外し
電動アシスト自転車のバッテリーを装着／取り外す場合に、バッテリーの取扱説明書にしっかりと目を通してください。
通常モード時にはペダルを漕ぐのをやめると、または24km/hに達すると、すぐに自転車自転車のモーター・サポートがオフになります。ペダルを再度漕ぎ出した時に、24km/hを下回ると、すぐにモーターは自動的に作動します。

電動アシスト自転車は以下のようにオフにすることができます。

- 車載コンピューターのON/OFFスイッチを押します。
- 電動アシスト自転車のバッテリーボタンをON/OFFスイッチでオフにします（自転車メーカーのソリューションによってはバッテリーのオフ／オンスイッチにアクセスできない場合があります。バッテリーの取扱説明書を参照してください）。
- 車載コンピューターをホルダーから外します。

電動アシスト自転車を約10分間動かさず、同時に車載コンピューターのスイッチを何も押していない場合に、電動アシスト自転車は節電するために自動的にオフになります。

サポートレベルの調整

電動アシスト自転車のペダルを踏み込んだ時にどれだけ出力をサポートするかを車載コンピューターで設定することができます。そのサポートレベルは走行中も含め、いつでも変更することができます。

備考：仕様によっては、サポートレベルが事前に設定され、それを変更できない場合があります。また、ここに記載されているよりもサポートレベルの選択肢が少ない場合もあります。

以下のサポートレベルを使用することができます（すべて利用する場合）。

- 「OFF」：モーター出力サポートがオフの状態であり、電動アシスト自転車は通常の自転車と同じようにペダルを漕いで進むことになります。
- 「ECO」：効率が非常に良く、航続距離が最大になるように効果的にサポートされます。
- 「TOUR」：出力サポートが安定して供給されるため、距離が長いトリップに適しています。
- 「SPORT」：パワフルな出力サポートが供給されるため、島外の大きなルートをスポンジに走行する場合や市街地を走行する場面に適しています。
- 「TURBO」：概ね25km/hまで出力サポートが供給できるため、スポンジに走行する場合に適しています。

設定したモーター出力は車載コンピューターのディスプレイに表示されます。最大モーター出力は、選択したサポートレベルによって左右されます。

自転車用ライトのオン／オフ

走行用ライトが電動アシスト自転車から電力を供給される仕様の場合、車載コンピューターを介してヘッドライトとテールライトを同時に点灯／消灯することができます。

電動アシスト自転車での走行に関する注意事項

電動アシスト自転車のモーターはいつ作動しますか？

ペダルを漕いでいる間は、電動アシスト自転車のモーターでサポートされます。ペダルを漕がないだけで、サポートはされません。サポートされるモーター出力は、ペダルを漕ぐ力に左右されます。

ペダルを漕ぐ力が小さいと、漕ぐ力が大きい場合よりもサポートされる出力は小さくなります。その出力はサポートレベルによって異なります。

24km/hを超えると、電動アシスト自転車のモーターは自動的にオフになります。24km/h以下になると、モーターは自動的に再びオンになります。

電動アシスト自転車をオフにしたり、サポートレベルを「OFF」にすれば、電動アシスト自転車を出力サポートなしにいつでも通常の自転車と同じように走行することができます。これはバッテリーが空になった場合も同じです。

電動アシスト自転車とシフトの運転

電動アシスト自転車の出力がサポートされている状態でも、通常の自転車と同じようにシフトの切換えを行うことができます（電動アシスト自転車の取扱説明書を参照）。

シフトの段数にかかわらず、シフト変更中はペダルを踏むだけで楽しくないという効率的です。シフトを切り替えやすいなり、モーター出力も無駄に使わなくて済むためです。

適切なギアを選択すると、ペダルを漕ぐ力が同じでも速度が上がり、航続距離も長くなります。

経験を重ねることが大切

走り慣れたルートを離れ、電動アシスト自転車で初めての場所を何度も走ってみることをお勧めします。

その時にぜひ異なるサポートレベルを試してみてください。その場合、一番低いサポートレベルから始めください。そこで確かな感覚が得られたら、普
保守とサービス

保守と清掃
バルブを交換する場合は、ボッシュの電動アシスト自転車自転車のバルブと互換性があるか（詳細については正規販売店にお問い合わせください。また、規定されている電圧に対応しているか確認してください。交換できるのは、同じ電圧のバルブのみです。

ドライプユニットを含め、いずれのコンポーネントも水に沈めたり、ウォータージェットで清掃したりしないでください。

電動アシスト自転車のサービス／修理については正規販売店にお問い合わせください。

カスタマーサービス＆使い方のご相談
電動アシスト自転車システムやコンポーネントに関するご質問は正規販売店にお問い合わせください。
正規販売店の一覧は www.bosch-ebike.com でご覧いただけます。

処分
ドライプユニット、オペレーティングユニットを含む車載コンピューター、パッテリーパック、速度センサー、付属品および紙包装は、必ず環境に配慮した方法で廃棄してください。

電動アシスト自転車やそのコンポーネントを家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

電動アシスト自転車や自転車のコンポーネントの廃棄に関する規定は、地域によって異なる場合があります。そのため、廃棄する前に住まいる地域の廃棄物庁舎に注意事項をご確認ください。

表記の内容を予告なく変更することがあります。
安全上の注意事項

安全上の注意事項と指示にすべて目を通してください。安全上の注意事項と指示を守らないと、感電、火災、または/および重量を招くことがありますのでご注意ください。

すべての安全上の注意事項と指示をしっかり守ってください。

本取扱説明書で使用されている用語「パッテリー」は、ポッシュ純正の電動アシスト自転車用パッテリーのことです。

> サイクルコンピューターの表示に気を取られ注意散漫にならないようにしてください。交通状況に集中していないと、事故に巻き込まれるおそれがあります。アシストモードの変更以外の設定をサイクルコンピューターに入力したい場合は、一旦停止してからデータを入力してください。

> サイクルコンピューターをグリップとして利用しないでください。サイクルコンピューターをつかんで電動アシスト自転車を持ち上げると、サイクルコンピューターが激しく損傷し、修理できなくなるおそれがあります。

> お使いの電動アシスト自転車の取扱説明書に記載されている安全上の注意事項と指示にすべて目を通し、必ず遵守してください。

製品と仕様について

用途

サイクルコンピューターIntuviaは、ポッシュの電動アシスト自転車を制御し、走行データを表示するためのものです。

本書に記載された機能のほか、不具合の修正や機能の拡充のためにソフトウェアが更新される場合があります。

各部の名称

記載のコンポネントの番号は、本書冒頭のページにある構成図の番号に対応しています。

ドライプユニット、アシストユニットを含むサイクルコンピューター、スピードセンサーと付属のホルダー以外の部品はすべて略図で示したもので、ご使用になられている電動アシスト自転車のものと異なる可能性があります。

(1) 表示機能ボタン
(2) 自転車ライトボタン
(3) サイクルコンピューター
(4) サイクルコンピューターのホルダー
(5) サイクルコンピューターのON/OFFスイッチ
(6) リセットボタンRESET
(7) USBソケット
(8) USBソケットの保護キャップ

(9) リモートコントロールユニット (リモコン)
(10) リモコンの表示機能ボタン
(11) ボタン：アシストモード低下 / 下へスクリー
ル→
(12) ボタン：アシストモード上昇 / 上へスクリー
ル↑
(13) 押し歩き補助ボタンWALK
(14) サイクルコンピューターのラッチ
(15) サイクルコンピューターの止めねじ

USB充電用コード (マイクロA-マイクロB) a)

A) 表示されていません。アクセサリーとして購入可能です。

サイクルコンピューターの画面表示

(a) ドライプユニットの出力レベル
(b) アシストモード
(c) ライト
(d) テキスト
(e) 数値
(f) スピードメーター
(g) 推奨シフト：ソフトアップ
(h) 推奨シフト：ソフトダウン
(i) 充電レベルインジケーター

テクニカルデータ

<table>
<thead>
<tr>
<th>サイクルコンピューター</th>
<th>Intuvia</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>製品コード</td>
<td>BU251/BU255</td>
</tr>
<tr>
<td>USB接続部の最大充電電流</td>
<td>mA 500</td>
</tr>
<tr>
<td>USB接続部の充電電圧</td>
<td>V 5</td>
</tr>
<tr>
<td>USB充電用コード a)</td>
<td>1270 016 360</td>
</tr>
<tr>
<td>動作温度</td>
<td>°C -5〜+40</td>
</tr>
<tr>
<td>保管温度</td>
<td>°C -10〜+50</td>
</tr>
<tr>
<td>電気温度</td>
<td>°C 0〜+40</td>
</tr>
<tr>
<td>リチウムイオンパッテリー (内部)</td>
<td>V 3.7</td>
</tr>
<tr>
<td>mAh 230</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>保護クラス b)</td>
<td>IP54 (塵埃/飛散水の侵入保護)</td>
</tr>
<tr>
<td>重量</td>
<td>kg 0.15</td>
</tr>
</tbody>
</table>

A) 標準のセット内容には含まれていません
B) USBカバーを取り付けた状態
ポッシュの電動アシスト自転車はFreeRTOSを使用しています（http://www.freertos.orgを参照）。
使い方

バッテリーの脱着
電動アシスト自転車用バッテリーを電動アシスト自転車に脱着する際はバッテリーの取扱説明書をよく読み、指示を順守してください。

サイクルコンピューターの脱着（図Aを参照）
サイクルコンピューター（3）を取り付けるには、サイクルコンピューターを前方からホルダー（4）に押し込みます。
サイクルコンピューター（3）を取り出すには、ラッチ（16）を押し、サイクルコンピューターを前方へポルダー（4）から押し出します。

電動アシスト自転車に装着する際には、サイクルコンピューターを取り外してください。
サイクルコンピューターをホルダーから取り出さないように保護することができます。ホルダー（4）をハンドルから取り外してから、サイクルコンピューターをポルダーに押し込みます。止めねじ（17）（M3ネジ、長さ8mm）を、ホルダーの下部に設けられている専用のネジ穴に取り付けてから、ホルダーを再びハンドルに取り付けます。

注意：止めねじは盗難防止用のものではありません。

操作

前提条件
電動アシスト自転車システムを起動するためには、下記の要件が満たされている必要があります。
- 十分に充電されたバッテリーが挿入されている（バッテリーの取扱説明書を参照）。
- サイクルコンピューターがホルダーに正しく取付けられている（参考：サイクルコンピューターの取扱説明書「日本語 - 2」）。
- スピードセンサーが正しく接続されている（ドライプユニットの取扱説明書を参照）。

電動アシスト自転車のオン/オフ
電動アシスト自転車は以下の方法でオンになりません。
- サイクルコンピューターがオンの状態で、ホルダーに装着すると、電動アシスト自転車は自動的にオンになります。
- サイクルコンピューターとバッテリーを電動アシスト自転車に装着した状態で、サイクルコンピューターのON/OFFスイッチ（5）に1回短く押します。
- サイクルコンピューターを装着した状態で、電動アシスト自転車用バッテリーのON/OFFスイッチを押します（自動車メークご用の搭載方法では、バッテリーのON/OFFスイッチを操作できない場合があります）。

eShift（オプション）
eShiftは、電動変速システムを電動アシスト自転車に組み込むものです。eShiftのコンポーネントは、メーカーによってドライプユニットに電気的に接続されています。電動変速システムの操作方法は、個別のある取扱説明書に記載されています。

サイクルコンピューターの電源
サイクルコンピューターがホルダー（4）に挿入され、十分に充電されたバッテリーが電動アシスト自転車に取り付けられており、スイッチがオンになっていると、電動アシスト自転車用バッテリーからサイクルコンピューターに電気が供給されます。
サイクルコンピューターをホルダー（4）から取り外すると、内部のバッテリーから電気が供給されます。サイクルコンピューターをオフにする時に内部のバッテリーが弱くなっていると、テキスト表示（2）に3秒間"バイクに警告"と表示されます。その後、サイクルコンピューターが再びオフになります。
内部のバッテリーを充電するには、バッテリーが電動アシスト自転車に取り付けられた状態でサイクルコンピューターを再度ホルダー（4）にセットします。電動アシスト自転車用バッテリーをON/
OFFスイッチでオフにします（バッテリーの取扱説明書を参照）。
USBスロットからサイクルコンピューターに充電することもできます。その際には保護キャップ（8）を開いてください。サイクルコンピューターのUSBソケット（7）を適切なUSBケーブルで市販のUSB充電器と接続するか、またはコンピューターのUSBソケットと接続します（充電電圧5 V、充電電流最大500 mA）。すると、サイクルコンピューターのテキスト表示（d）に『USB接続中』と表示されます。

サイクルコンピューターのオン／オフ
サイクルコンピューターをオンにするには、ON／OFFスイッチ（5）を短く押します。サイクルコンピューターは、ホルダーに挿入されていても（内部のバッテリーが十分に充電されている）、オフになります。
サイクルコンピューターをオフにするには、ON／OFFスイッチ（5）を押します。
サイクルコンピューターをホルダーに挿入していない場合、節電のために、ボタンを押さなくても1分後に自動的にオフになります。

電動アシスト自転車を数週間使用しない場合
は、サイクルコンピューターをホルダーから取り外してください。サイクルコンピューターは、冷気の少ない場所で常時保存してください。
また、サイクルコンピューターのバッテリーは定期的に充電してください（1ヶ月ごとに）。

充電レベルインジケーター
充電レベルインジケーター（i）は電動アシスト自転車用バッテリーの充電レベルを表示するもので、サイクルコンピューター内部のバッテリーの充電レベルを示すものではありません。電動アシスト自転車用バッテリーの充電レベルは、バッテリー全体のLEDでも読み取ることができます。
インジケーター（i）に表示されるバッテリーアイコンの個々のバーは20％の容量に相当します。

電動アシスト自転車用バッテリーは満充電されています。
電動アシスト自転車用バッテリーを充電する必要があります。
バッテリーの充電レベルインジケーターのLEDが消灯します。アシストするためのバッテリー容量が少なくなり、アシスト力はゆっくり低下していきます。残りのバッテリー容量はガイドとサイクルコンピューターのために使用され、インジケーターが点滅します。電動アシスト自転車用バッテリーの残りの容量で、自転車ライトをさらに約2時間間点灯させることができます。この場合、その他の負荷（電動シフト、USBケーティ内の外部装置の充電など）は考慮していません。

サイクルコンピューターをホルダー（4）から取り外すと、最終に表示されたバッテリーの充電レベルが保存されます。2個積みバッテリーの電動アシスト自転車の場合、充電レベルインジケーター（i）には両方のバッテリーの充電レベルが表示されます。

2個積みバッテリーの電動アシスト自転車で2つのバッテリーを充電する場合、ディスプレイには両方のバッテリーの充電状況が表示されます（図は左のバッテリーに充電しているもの）。充電中のバッテリーはインジケーターが点滅するため、バッテリーのどちらを充電中かわかるようになってい

アシストモードの設定
リモコン（9）で、ペダリング中に電動アシスト自転車をどの程度アシストするかを設定することができます。アシストモードは、走行中でもいつでも変更することができます。

注意事項：サポートレベルがプリセットされ、変更できない仕様もあります。また、ここに列挙されているレベルより低いサポートレベルが選択でき場合もあります。

電動アシスト自転車がメーカーによってeMTB Modeに設定されている場合、サポートレベルのSPORTはeMTBに置き換えられます。eMTB Modeでは、サポート倍率とトルクはペダリング力に応じてダイナミックに調整されます。eMTB ModeはPerformance Line CXでのみ使用可能です。

以下のサポートレベルをご利用いただけます。
- OFF：モーターによるサポートは停止し、電動アシスト自転車を通常の自転車と同じようにペダリングに応じて操作します。このサポートレベルでは、押し出しアシストをオフにすることはできません。
- ECO：最高の効率でサポートします（走行距離をできるだけ伸ばした、人向け）。
- TOUR：安定したパワードサポートします（長距離走行向け）。
- SPORT/eMTB：SPORT：パワフルなサポートします（起伏のあるコースをスポーツ的な走行を行う場合や市街地走行向け）。

eMTB：地形に合わせて最適にサポートします（スポーツ的な走行、ダイナミクスの向上、最大限のパフォーマンスを実現）。
- TURBO：ペダリング頻度が高くなるまで最大限にサポートします（スポーツ的な走行向け）。

アシストモードを上げるには、リモコンの(14)を押し、インジケーター（b）の表示を希望のアシストモードにします。アシストモードを下げる場合は(13)を押しします。
モーター出力はインジケーターに表示されます。最大モーター出力は選択したアシストモードによって異なります。
サイクルコンピューターをホルダー(4)から取り外すと、最後に表示されたアシストモードが保存され、モーター出力のインジケーター(3)には何も表示されなくなります。

電動アシスト自転車と変速機の相互作用
電動アシスト自転車のドライブユニットを使用する場合でも、通常の自転車と同様に変速機を使用してください（電動アシスト自転車本体の取扱説明書をご確認ください）。
変速機のタイプに関係なく、ギアを変える際は一旦ペダルをこぐ力を弱めることをお勧めします。これにより、ギヤチェンジしやすくなり、ドライブユニットの損傷も抑えられます。
適切なギヤを選択すれば、同じ力で自転車を走行することができるでしょう。そのため、ディスプレイのインジケーターの(a)と(h)の推奨シフトに従って走行してください。インジケーターに(a)と表示されたら、シフトアップしてください。また、インジケーターに(h)と表示されたら、シフトダウンしてください。

自転車ライトのオン／オフ
電動アシスト自転車システムによって給電される仕様では、サイクルコンピューターのボタン(2)によってヘッドライトとテールライトを同時に点灯／消灯することができます。
ライトがオンの場合は「ライト点灯」、ライトがオフの場合は「ライト消灯」とテキスト表示(4)と約1秒間表示されます。ライトが点灯していると、「ライトオン」が表示されます。
サイクルコンピューターはライトのステータスを保存し、次回のスタート時に、必要に応じてこのステータスに従ってライトを作動させます。
自転車ライトのオン／オフは、ディスプレイのバックリイトに影響を与えることはありません。

押し歩き補助のオン／オフ
押し歩きアシストを使用すると、電動アシスト自転車を楽に押しで歩くことができます。この機能の速度は設定されたギヤによって変わり、6km/h（最低）を超えることはできません。選択されたギヤが小さいほど、押し歩きアシストの速度は低くなります（フル出力時）。
押し歩きアシスト機能は、電動アシスト自転車押し歩き時にのみ使用してください。押し歩きアシスト機能を使用している時に電動アシスト自転車の車輪が地面に接触していないと、けがをするおそれがあります。
押し歩き補助をオンにするには、サイクルコンピューターのボタン(13)を短く押します。オンにしてから3秒以内にボタンを押し続けると、電動アシスト自転車のモーターがオンになります。
押し歩きアシストは、以下の場合に直ちにオフになります。
- +ボタンから指を離した場合
- 電動アシスト自転車の車輪の回転が止まった場合（ブレーキをかけた場合や障害物にぶつかった場合など）
- 速度が6km/hを超えた場合

注意事項：押し歩きアシストは、サポートレベルがOFFの時は起動できません。
注意事項：押し歩きアシストがWALKボタンを押すだけで起動するシステムもあります。押し歩き補助の機能は国別で規定を順守したものとなるため、上記の説明とは異なる場合があります。

USBソケットからの外部装置への電源供給
USBソケットを使用し、USBから電源供給可能な装置（携帯電話など）を動作させたり、充電したりすることができます。
充電するための前提条件となるのは、サイクルコンピューターと十分充電したバッテリーや電動アシスト自転車に取り付けられていることです。
サイクルコンピューターのUSBソケットの保護キャップ(9)を外してから、USB充電用コード（マイクロB・マイクロB）（ポッシュの電動アシスト自転車の販売店で入手可能）を外部装置のUSBソケットとサイクルコンピューターのUSBソケット(8)に接続します。
電気機器を取り外した後、USBソケットで保護キャップ(9)で覆ってください。
USBソケットは耐水性のコンネクタではありません。雨の中を走行する場合は外部装置を接続せず、必ずUSBソケットを保護キャップ(9)で完全に覆ってください。

注意：電気機器を接続しているとき、電動アシスト自転車の航続距離が短くなることがあります。

サイクルコンピューターの表示と設定
速度表示と距離表示
スピードメーター(6)には、現在の速度が表示されています。
機能表示（テキスト表示(2)と数値表示(1)の組み合わせ）には、以下の機能を選択して表示させることができます。
- 〈時計〉：現在の時刻
- 〈最高速度〉：前回のリセット以降で達成した最高速度
- 〈平均速度〉：前回のリセット以降で達成した平均速度
- 〈走行時間〉：前回のリセット以降の走行時間
- 〈航続距離〉：残りのバッテリー充電量での予想航続距離（アシストモード、ルート条件などが同じ場合）
- <<航続距離>>: 電動アシスト自転車でこれまで走行した総距離の表示（リセット不可）
- <<走行距離>>: 前回のリセット以降に走行した距離
表示機能を切り替えるには、サイクルコンピューターの1ポタン(1)またはリモコンの1ポタン(10)を押して、希望する機能を表示します。
<走行距離>/、<走行時間>/、<平均速度>をリセットするには、これらの3つの機能のいずれかに切り替え、表示がゼロになるまでRESETボタン(6)を押します。これにより、他の2つの機能の値もリセットされます。
<最高速度>をリセットするには、この機能に切り替えたら、表示がゼロになるまでRESETボタン(6)を押します。
<航続距離>をリセットするには、この機能に切り替えたら、表示がゼロになるまでRESETボタン(6)を押します。

基本設定の表示/変更
サイクルコンピューターをホルダー(4)に取り付けた状態、または取り付けていない状態のどちらでも、基本設定の表示および変更が可能です。ただし、サイクルコンピューターが取り付けられていらない場合にはのみ表示・変更を行うことができる設定もあります。また、電動アシスト自転車の装備内容によっては、いくつかのメニュー項目が表示されない場合もあります。
基本設定メニューを表示するには、RESETボタン(6)と1ポタン(1)を同時に押して、テキスト表示(d)に設定を表示します。
基本設定切り替えを行った後に、サイクルコンピューターの1ポタン(1)を押して、希望する基本設定を表示します。サイクルコンピューターをホルダー(4)に取り付けている場合は、リモコンの1ポタン(10)で切り替えることもできます。
基本設定変更を行うには、-表示の欄にあるON/OFFスイッチ(5)を押して数値の下げるか、または上へスクロールし、+表示の欄にあるライトボタン(2)を押して数値を上げるか、または上へスクロールします。サイクルコンピューターをホルダー(4)に取り付けている場合は、リモコンの1ポタン(1)または12ポタン(12)で変更することもできます。
機能を終了し、変更した設定を保存するには、RESETボタン(6)を3秒間押します。
以下の基本設定を選択することができます。
- << 基準 >>: 現時刻を設定します。ボタンを長押しすると、数字が早く変わります。
- << ボート外周 >>: メーカー設定値を±5%の範囲で変更することができます。このメニュー項目は、サイクルコンピューターホルダーに挿入されている場合のみ表示されます。
- << 日付 >>: デジタル表示の言語を変更します。選択できる言語は、ドイツ語、英語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、オランダ語、デンマーク語です。
- << 単位切替 >>: 速度と距離の単位をキロメートルまたはマイルで表示します。
- << 時間形式 >>: 時刻を12時制または24時制で表示します。
- << 推奨切替 >>: 推奨シフトの表示をオン/オフします。
- << 電源オン時間 >>: 電動アシスト自転車での合計走行時間を表示します（変更不可）。
- << Disp. x.x.x.x >>: ディスプレイのソフトウェアバージョン。
- << DU x.x.x.x >>: ドライプユニットのソフトウェアバージョン。このメニュー項目は、サイクルコンピューターホルダーに挿入されている場合のみ表示されます。
- << DU SN x.x.x.x >>: ドライプユニットのシリアル番号。このメニュー項目は、サイクルコンピューターホルダーに挿入されている場合のみ表示されます。
- << DU PN x.x.x.x >>: ドライプユニットの製品番号。このメニュー項目は、サイクルコンピューターホルダーに挿入されており、ドライプユニットの製品番号が分かる場合のみ表示されます。
- << サイクル MM/YY >>: このメニュー項目は、自転車メーカーが特定のサービスインターバルを定めている場合のみ表示されます。
- << サイクル xx/yy >>: このメニュー項目は、自転車メーカーが特定の走行距離に応じてサービスインターバルを定めている場合のみ表示されます。
- << Bat x.x.x.x >>: バッテリーのソフトウェアバージョン。このメニュー項目は、サイクルコンピューターホルダーに挿入されている場合のみ表示されます。2個のバッテリーを使用する場合、両方のバッテリーのソフトウェアバージョンが順番に表示されます。
- << Bat PN x.x.x.x >>: 電動アシスト自転車用バッテリーの製品番号。このメニュー項目は、サイクルコンピューターホルダーに挿入されており、電動アシスト自転車用バッテリーの製品番号が分かる場合のみ表示されます。2個のバッテリーを使用する場合、両方のバッテリーのソフトウェアバージョンが順番に表示されます。
- << Cha x.x.x.x >>: 充電器のソフトウェアバージョン。充電器がソフトウェアバージョンを提供している場合のみ表示されます。
- 電動アシスト自転車にABSが装備されている場合、ABSのソフトウェアバージョンとシリアル番号も表示されます。
### エラーコードの表示

電動アシスト自転車のコンポーネントは常に自動的に点検されます。エラーが確認されると、該当するエラーコードがテキスト表示（D）に表示されます。

サイクルコンピューター（3）またはリモコン（9）の任意のボタンを押すと、標準画面に戻ります。

<table>
<thead>
<tr>
<th>コード</th>
<th>原因</th>
<th>対処</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>410</td>
<td>サイクルコンピューターの1つ以上のボタンが動かない。</td>
<td>汚れなどが入り込んでボタンが固着していないか点検してください。必要に応じてボタンを清掃してください。</td>
</tr>
<tr>
<td>414</td>
<td>リモコンの接続障害</td>
<td>接続部と接続の点検を受けてください。</td>
</tr>
<tr>
<td>418</td>
<td>リモコンの1つ以上のボタンが動かない。</td>
<td>汚れなどが入り込んでボタンが固着していないか点検してください。必要に応じて、ボタンを清掃します。</td>
</tr>
<tr>
<td>419</td>
<td>構成エラー</td>
<td>システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>422</td>
<td>ドライバユニットの接続障害</td>
<td>接続部と接続の点検を受けてください。</td>
</tr>
<tr>
<td>423</td>
<td>電動アシスト自転車用バッテリーの接続障害</td>
<td>接続部と接続の点検を受けてください。</td>
</tr>
<tr>
<td>424</td>
<td>コンポーネント間の通信エラー</td>
<td>接続部と接続の点検を受けてください。</td>
</tr>
<tr>
<td>426</td>
<td>内部のタイムアウトエラー</td>
<td>システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。このエラー状態では、基本設定メニューでタイヤのサイズを表示/調整することはできなくなります。</td>
</tr>
<tr>
<td>430</td>
<td>サイクルコンピューター内部のバッテリーが空になっている（ホルダーまたはUSBソケットで）サイクルコンピューターを充電してください。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>431</td>
<td>ソフトウェアのバージョンエラー</td>
<td>システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>440</td>
<td>ドライバユニットの内部エラー</td>
<td>システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>450</td>
<td>内部のソフトウェアエラー</td>
<td>システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>460</td>
<td>USBソケットのエラー</td>
<td>サイクルコンピューターのUSBソケットからケーブルを抜き取ってください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>490</td>
<td>サイクルコンピューターの内部エラー</td>
<td>サイクルコンピューターの点検を受けてください。</td>
</tr>
<tr>
<td>500</td>
<td>システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>502</td>
<td>自転車ライトの不具合</td>
<td>ライトと付属のケーブルを点検してください。システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>503</td>
<td>スピードセンサーのエラー</td>
<td>システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

修理は、必ず正規販売店に依頼してください。
<table>
<thead>
<tr>
<th>コード</th>
<th>原因</th>
<th>対処</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>504</td>
<td>速度信号の改造が検出された</td>
<td>自転車で改造が行われたかどうかを確認してください。 スポークマグネットの位置を点検し、必要に応じて調整してください。改造が検出されると、システムは安全な状態（エマージェンシーモード）になります。エマージェンシーモードは、走行時間が約90分経過すると自動的に解除されます。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>510</td>
<td>内部のセンサーエラー</td>
<td>システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>511</td>
<td>ドライプユニットの内部エラー</td>
<td>システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>530</td>
<td>バッテリーの不具合</td>
<td>電動アシスト自転車をオフにし、電動アシスト自転車用バッテリーを取り外してから再び取り付けてください。その後、システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>531</td>
<td>構成エラー</td>
<td>システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>540</td>
<td>温度エラー</td>
<td>電動アシスト自転車が許容温度範囲の外にあります。電動アシスト自転車をオフにして、ドライプユニットを許容温度範囲まで冷やしてください。その後、システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>550</td>
<td>許可されていない電気機器が検出された</td>
<td>電気機器を取り外してみてください。その後、システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>580</td>
<td>ソフトウェアのバージョンエラー</td>
<td>システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>591</td>
<td>認証エラー</td>
<td>電動アシスト自転車をオフにして、バッテリーを取り外してから再び取り付けてください。その後、システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>592</td>
<td>互換性のないコンポーネント</td>
<td>互換性のあるサイクルコンピューターを取り付けてください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>593</td>
<td>構成エラー</td>
<td>システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>595, 596</td>
<td>通信エラー</td>
<td>故障箇所につながる配線を点検し、システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>602</td>
<td>充電中バッテリーの内部エラー</td>
<td>充電器とバッテリーの接続を外してから、システムを再起動してください。その後、充電器をバッテリーに接続してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>602</td>
<td>バッテリーの内部エラー</td>
<td>システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>コード</td>
<td>原因</td>
<td>対処</td>
</tr>
<tr>
<td>-------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>603</td>
<td>バッテリーの内部エラー</td>
<td>システムを再起動してみてください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>605</td>
<td>バッテリーの温度エラー</td>
<td>電動アシスト自転車が許容温度範囲の外にあります。電動アシスト自転車をオフにして、ドライプユニットを許容温度範囲まで冷やすか、または暖めてください。その後、システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>605</td>
<td>充電中のバッテリー温度エラー</td>
<td>充電器とバッテリーの接続を外してから、バッテリーの熱を冷ましてください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>606</td>
<td>バッテリーの外部エラー</td>
<td>配線を点検してから、システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>610</td>
<td>バッテリーの電圧エラー</td>
<td>システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>620</td>
<td>充電器のエラー</td>
<td>充電器を交換してください。ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>640</td>
<td>バッテリーの内部エラー</td>
<td>システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>655</td>
<td>バッテリーの多重エラー</td>
<td>電動アシスト自転車をオフにしてからバッテリーを取り外し、再び取り付けてください。その後、システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>656</td>
<td>ソフトウェアのバージョンエラー</td>
<td>ソフトウェアのバージョンを確認してください。</td>
</tr>
<tr>
<td>7xx</td>
<td>変速機の不具合</td>
<td>変速機メーカーの取扱説明書を参照してください。</td>
</tr>
<tr>
<td>800</td>
<td>ABSの内部エラー</td>
<td>ポッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>810</td>
<td>ホイールスピードセンサーの信号異常</td>
<td>ポッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>820</td>
<td>前輪スピードセンサーへの配線異常</td>
<td>ポッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>821～826</td>
<td>前輪スピードセンサーの信号異常</td>
<td>センサー故障とも取れない状態を改善してみてください。システムを再起動し、スイッチを2分以上行ってください。すると、ABSコントロールライトが消灯します。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>830</td>
<td>後輪スピードセンサーへの配線異常</td>
<td>ポッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>831 833〜835</td>
<td>後輪スピードセンサーの信号異常</td>
<td>センサー故障とも取れない状態を改善してみてください。システムを再起動し、スイッチを2分以上行ってください。すると、ABSコントロールライトが消灯します。引き続き問題が生じる場合は、ボッシュの電動アシスト自転車の販売店にご連絡ください。</td>
</tr>
</tbody>
</table>
コード | 原因 | 対処
--- | --- | ---
840 | ABSの内部エラー | ポッシュの電動アシスト自転車の販売店にてご連絡ください。
850 | ABSの内部エラー | ポッシュの電動アシスト自転車の販売店にてご連絡ください。
860、861 | 電源の不具合 | システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ポッシュの電動アシスト自転車の販売店にてご連絡ください。
870、871、880、883 〜 885 | 通信エラー | システムを再起動してください。引き続き問題が生じる場合は、ポッシュの電動アシスト自転車の販売店にてご連絡ください。
889 | ABSの内部エラー | ポッシュの電動アシスト自転車の販売店にてご連絡ください。
890 | ABSコントロールライトが故障しているか、またはライトがあります。ABSが機能していない可能性があります。 | ポッシュの電動アシスト自転車の販売店にてご連絡ください。

表示なし | サイクルコンピューターの内部エラー | 電動アシスト自転車をオフにし、再びオンにしてからシステムを再起動してください。

お手入れと保管
保守と清掃
ドライプユニットを含むすべてのコンポーネントを水に浸けたり、高圧で洗浄しないでください。サイクルコンピューターの清掃には、水で湿らせた柔らかい布だけを使用してください。その際、洗剤は使用しないでください。
年1回以上の周期で電動アシスト自転車の点検をお依頼してください（メカニズム、システムソフトウェアの適時性など）。
また、走行距離および/または時間に基づいてサービスインターバルを設定している自転車メーカー自転車販売店もあります。この場合、サイクルコンピューターをインすにする度にサービス期日が4秒間表示されます。
サービスと修理に関しては自転車の販売店にお問い合わせください。

廃棄
ドライプユニット、ボードコンピューター（操作ユニットを含む）、バッテリー、スピードセンサー、アクセサリーと梱包材は、環境に適した方法でサイクル化してください。
電動アシスト自転車とそのコンポーネントを一般の家庭用ごみとして廃棄しないでください。
使用できなくなった電気/電子機器および故障または使用済みのバッテリー/電池は、それぞれ欧州指令2012/19/EUと2006/66/EGに従い、分包回収と環境に適合した再利用が規定されています。
使用できなくなったポッシュ電動アシスト自転車のコンポーネントは自転車の販売店にお持ちください。
予告なく変更する場合があります。

カスタマーサービス&使い方のご相談
電動アシスト自転車とそのコンポーネントに関するご質問については自転車の販売店にお問い合わせください。
自転車の販売店の連絡先は、WEBサイトのwww.bosch-eBike.comで確認することができます。

運搬
電動アシスト自転車を自動車で運ぶ際、車内に積まず、車外のラゲージキャリアに載せて運ぶ場合は、損傷を防ぐために、ボードコンピューターとバッテリーを電動アシスト自転車から取り外しておいてください。
安全上の注意事項

安全上の注意事項と指示に対して目を通してください。安全上の注意事項と指示に守らないと、感電、火災または人命の重傷を招くことがありますのでご注意ください。

リチウムイオンバッテリーの内容物は、一定の条件下で発熱、発火する可能性があります。取り扱いに当たっては、この取扱説明書の指示を守ってください。

すべての安全上の注意事項と指示をしっかり守ってください。

本取扱説明書で使用されている用語「バッテリー」は、ポッシュ純正の電動アシスト自転車用バッテリーのことを指しています。

電動アシスト自転車の整備作業（点検、修理、組み立てメンテナンス、チェーン周りの作業など）を行う場合、電動アシスト自転車車両や航空機で輸送する場合、または保管するときは、事前に電動アシスト自転車からバッテリーを取り外してください。電動アシスト自転車システムが不注意に作動し、負傷する危険があります。

バッテリーを分解しないでください。ショートするおそれがあります。バッテリーを分解した場合、一切の保証が無効になります。

バッテリーを熱（長時間にわたる直射日光）や火災から保護してください。また、水に浸水しないでください。高温の物体、または可燃物の近くでバッテリーを保管／使用しないでください。これをお守りないと爆発につながるおそれがあります。

端子間を短絡するおそれのあるクリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなどの小さな金属製のものに、使用していないバッテリーを近づけないでください。バッテリー端子間のショートは、火災につながるおそれがあります。ユーザーの不注意による端子のショートが原因で起きた損害に関し、ポッシュは一切の責任を負いません。

機械的な負荷や強い衝撃がかかるようにしてください。バッテリーが損傷し、燃え性のある内容物が漏れる場合があります。

充電器とバッテリーを可燃物の近くに置かないでください。バッテリーの充電は、周囲に燃えるもの乾燥した場所で行ってください。充電中の発熱のため、火災が発生するおそれがあります。

電動アシスト自転車用バッテリーを充電したまでは放置しないでください。

誤って使用すると、バッテリーから液体が漏出の恐れがあります。その液体に触れると、電解質が皮膚に接触すると、刺激を受けたり、やけどにつながるおそれがあります。

バッテリーに機械的衝撃を加えないでください。バッテリーが損傷するおそれがあります。

バッテリーが損傷していた場合や、バッテリーを不適切に使用した場合、火災が発生する可能性があります。その場合には新鮮な空気を取り入れ、不快感がある場合には医師の診断を受けてください。火災が発生する可能性があります。

バッテリーの充電には必ずポッシュの純正充電器を使用してください。他社の純正充電器を使用すると、火災の危険が生じるおそれがあります。

このバッテリーはポッシュ純正の電動アシスト自転車システムを搭載した電動アシスト自転車で使用してください。その場合のみ、バッテリーは無償で交換されます。

お客様がお買い物になくなった電動アシスト自転車のバッテリーの購入をインストールするポッシュ純正バッテリーを必ずご使用ください。それ以外のバッテリーを使用すると、ケガや火災につながるおそれがあります。認定品以外のバッテリーを使用した場合、ポッシュは一切責任を負いません。た、保証も適用されません。

バッテリーは子供の手の届かない場所に保管してください。

お使いの電動アシスト自転車の取扱説明書に記載されている安全上の注意事項と指示にすべて目を通し、必ず順守してください。

弊社の製品の品質、そしてお客様の安全は私たちにとって非常に重要です。弊社の電動アシスト自転車用バッテリーは、最新の技術を用いて開発・製造されたリチウムイオンバッテリーです。私たちは、関係する安全基準を全て達成し、項目によってはそれを超えています。充電された状態のリチウムイオンバッテリーには多数のエネルギーが含まれています。不具合が発生した場合（外見からは分からないことがある）、非常にまれなケースですが、不必要な条件が重なると、リチウムイオンバッテリーが発火することがあります。

データの保護について

電動アシスト自転車をポッシュの診断ツールに接続したときに、製品改良の目的のため、ポッシュ製電動アシスト自転車用バッテリーの使用状況に関するデータ（温度、セル電圧など）がBosch eBike Systems (Robert Bosch GmbH) に伝えられます。詳細については、ポッシュの電動アシスト自転車関係のWEBサイト www.bosch-ebike.com をご覧ください。
製品と仕様について

各部の名称

記載のコンポーネントの番号は、本書冒頭のページにある構成図の番号に対応しています。
以下の図は、バッテリーとそのホルダー以外の部品はすべて略図で示したもので、ご使用にあたっての電動アシスト自転車のものと若干異なる可能性があります。
本書に記載された機能のほか、不具合の修正や機能の拡充のためにソフトウェアが更新される場合があります。

（1）動作 / 充電レベルインジケーター

テクニカルデータ

<table>
<thead>
<tr>
<th>リチウムイオンバッテリー</th>
<th>PowerPack 300</th>
<th>PowerTube</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>製品コード</td>
<td>BBS242</td>
<td>BPP280</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>BBS281 垂直タイプ</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>定格電圧 V=</td>
<td>36</td>
<td>36</td>
</tr>
<tr>
<td>定格容量 Ah</td>
<td>8.2</td>
<td>13.4</td>
</tr>
<tr>
<td>電源 Wh</td>
<td>300</td>
<td>500</td>
</tr>
<tr>
<td>動作温度 °C</td>
<td>-5...+40</td>
<td>-5...+40</td>
</tr>
<tr>
<td>保管温度 °C</td>
<td>-10...+60</td>
<td>-10...+60</td>
</tr>
<tr>
<td>充電可能温度範囲 °C</td>
<td>0...+40</td>
<td>0...+40</td>
</tr>
<tr>
<td>質量、約 kg</td>
<td>2.5</td>
<td>2.8</td>
</tr>
<tr>
<td>保護クラス</td>
<td>IP 54（塵埃/飛散水の侵入保護）</td>
<td>IP 54（塵埃/飛散水の侵入保護）</td>
</tr>
</tbody>
</table>

使い方

バッテリーは必ず清潔な場所に置いてください。充電プラグ用差込口と端子が砂や土などでは汚れないようにしてください。

初回の使用前のバッテリーの点検

初めて充電する前、またはお手元の電動アシスト自転車に初めて取り付けて使用する前に、バッテリーを確認してください。

ON/OFFスイッチ (2) を押し、バッテリーのスイッチをオンにします。充電レベルインジケーター (1) のLEDが点灯しない場合には、バッテリーが故障している可能性があります。

充電レベルインジケーター (1) のLEDが、少なくとも1個は点灯するもので、全部は点灯しないという場合には、初めて使用する前にバッテリーを満充電してください。

損傷したバッテリーを充電／使用しないでください。自転車を購入した販売店に連絡してください。

バッテリーの充電

充電には必ず、お買い求めの電動アシスト自転車に標準装備として含まれる充電器、または構造的にそれと同等のボッシュの純正充電器を使用してください。これらの充電器だけがお客様の電動アシスト自転車に使用されているリチウムイオンバッテリーに対応しています。

注意事項：バッテリーは浮充電状態で入庫されます。バッテリーの出力をフルに引き出すために、初回のご使用前に充電器でバッテリーを満充電してください。

バッテリーを充電する前に、充電器の取扱説明書をよく読み、その指示を守ってください。

バッテリーは、現在の充電レベルに関係なく、いつでも充電できます。充電プロセス中に充電を中断しても、バッテリーが損傷することはありません。

バッテリーには温度モニターカード付属しており、温度が0°C以上、40°C以下のときののみ充電が行われます。バッテリーが充電温度範囲外にあるときは、充電レベルインジケータ
一(1)のLEDが3個点滅し
ます。バッテリーや充電
器から離脱し、周囲の温
度環境で換気してくださ
い。

バッテリーや充電に適した温度になったことを確
認してから、バッテリーを再び充電器につないで
ください。

残量表示
充電レベルインジケーター(1)には緑色のLEDが5個
あり、バッテリーをオンにすると、その充電状態
がこれによって示されます。
LEDはそれぞれ約20%の容量を表しています。バッ
テリーが満充電状態になると、5個のLEDがすべて
点灯します。
オフにしたバッテリーの充電レベルは、オンポー
ドコンピューターのディスプレイにも表示されます。
これについては、ドライブユニットとオンポー
ドコンピューターの取扱説明書を読み、その指
示に従ってください。
バッテリーの残り容量が5%切ると、バッテリー
の充電レベルインジケーター(1)のLEDがすべて消え
ますが、オンボードコンピューターの表示機能は
働きます。
充電終了後はバッテリーを電気圧から取り出し、
充電器の電源を外します。

バッテリーの脱出
▼ バッテリーをホルダーに装着するとき、および
一旦取り出すときは、必ずバッテリー
と電動アシスト自転車システムの両方をオフに
してください。

標準バッテリーの脱着（図Aを参照）
バッテリーを装着するには、キー(3)をロック(4)に
差しきり、ロックを開放する必要があります。
標準バッテリー(6)を装着するには、電動アシスト
自転車の下部ホルダー(7)の接触面とバッテリー
の接触部を増しご合せます（バッテリーは電動アシ
スト自転車のフレームに対し、最大7mmまで傾けられ
ることができます）。上部ホルダー(5)内で停止位置
まで達すると、バッテリーを傾けます。達すると、
カチッと鳴り合う音がひっきりなり聴こえます。
バッテリーがしっかりと固定され、どの方向にもぐ
らつからないことを確認してください。バッテリー
を装着した後は必ずロック(4)を施錠してください。
これにより、何かのはずみでロックが開き、バッテリーがホルダーから
脱落するのを防ぐことができます。
施錠後は、必ずロック(4)からカギ(3)を抜き取って
ください。そのままに、カギの落下による紛失
や、電動アシスト自転車停止中に第三者によって
バッテリーが持ち去られるのを防ぐことができま
す。

標準バッテリー(6)を取り出すには、バッテリーの
スイッチをオフにし、カギ(3)でロックを開放しま
す。バッテリーを傾けて上部ホルダー(5)から外し
てから、下部ホルダー(7)から引き抜きます。

PowerTubeバッテリーの取り出し（図Bを参照）
① PowerTubeバッテリー(12)を取り出すには、ロ
ック(4)をカギ(3)で開錠します。するとバッテ
リーはロック解除され、保持装置(11)内に落
下します。
② 保持装置を上から押すと、バッテリーは完全
にロック解除され、作業者の手の中に収まり
ます。それからバッテリーをフレームから抜
き取ります。

注意事項：構造上の違いから、バッテリーの脱着
方法が異なる可能性があります。その
場合には、お手持の電動アシスト自転車に付属する
取扱説明書を参照してください。

PowerTubeバッテリーの装着（図Cを参照）
バッテリーを装着するには、カギ(3)をロック(4)に
差し込み、ロックを開放する必要があります。
① PowerTubeバッテリー(12)を装着するには、フ
レームの下部ホルダーの接触面とバッテリー
の接触部を増し合わせます。
② バッテリーを上方に、保持装置(11)によって
保持されるまで押し込みます。
③ バッテリーを上方に、カチッと鳴り合う音が
ひっきりこえるまで押し付けます。バッテ
リーがしっかり固定され、どの方向にもぐら
つからないことを確認してください。
④ バッテリーを装着した後は必ずロック(4)を施
錠してください。これにより、何かのはずみで
ロックが開き、バッテリーがホルダーから
脱落するのを防ぐことができます。

操作
使用方法
▼ お客様が買い求めになった電動アシスト
自転車のメーカーが指定するボッシュ純正
バッテリーを必ずご使用ください。それ以外のバッ
テリーを使用すると、けがや火災につながるおそれ
があります。認定品以外のバッテリーを使用した
場合、ボッシュは一切責任を負いません。ま
だ、保証も適用されません。

スイッチ オン／オフ
バッテリーのスイッチオンは、電動アシスト自転
車システムをオンにする手段のひとつです。これ
については、ドライブユニットとボードコンピ
ューターの取扱説明書を読み、その指示に従って
ください。
バッテリーまたは電動アシスト自転車システムをオンにする前に、ロック(4)が施錠されていることを確認してください。
バッテリーをオンにするには、ON/OFFスイッチ(2)を押します。すると充電レベルインジケーター(1)のLEDが点灯し、現在の充電状態を示します。
注意事項：バッテリーの残量が5%を切ると、バッテリーの充電レベルインジケーター(1)のLEDは一時的に点灯しません。電動アシスト自転車システムがオンになったかどうかは、ボードコンピューターや確認できません。
バッテリーをオフにするには、ON/OFFスイッチ(2)を再度押します。すると充電レベルインジケーター(1)のLEDが消灯します。電動アシスト自転車システムも同時にオフになります。
10分間以上にわたり電動アシスト自転車の駆動システムにパワーが要求されず（例：電動アシスト自転車が停車中）、かつボードコンピューターまたは電動アシスト自転車操作ユニットのボタンが押されなかった場合には、省エネのために電動アシスト自転車システムとバッテリーは自動的にオフに切り換わります。
バッテリーは「電子セルプロテクション（ECP）」により、過充電、過放電、オーバーヒートとショートから保護されています。何らかの危険を検知すると、保護回路が働き、バッテリーは自動的にオフになります。

バッテリーの不具合が検出されると、充電レベルインジケーター(1)のLEDが2箇所点滅を始めます。その場合は、自転車を販売店に連絡してください。

バッテリーの最適な取り扱い方法
バッテリーは正しくお入れし、特に過温下で保管すると、寿命を延ばすことができます。
充電後は、充電後の充電レベルの電圧が下がり、バッテリーの寿命が短くなります。それに加え、過充電や過放電、オーバーヒートとショートから保護されています。何らかの危険を検知すると、保護回路が働き、バッテリーは自動的にオフになります。
バッテリーが長時間にわたり充電されない場合（約3ヶ月間）、充電レベルを約30〜60%（充電レベルインジケーター(1)のLEDが2箇所または3箇所点灯）の状態に保ってください。
6ヶ月が経過した頃に充電レベルを点検してください。充電レベルインジケーター(1)のLEDが1箇所だけ点灯する場合は、充電レベルが約30〜60%に回復するまで充電してください。
注意事項：バッテリーを空の状態で長時間放置すると、少し遅ればはい自然放電が進み、蓄電容量が大きく低下します。
バッテリーを長時間にわたり充電器につないだままにすることはあまり推奨できません。

保管条件
バッテリーは充分に乾燥し、風通しの良い場所で保管してください。湿度や水濡れから保護してください。天候不順の間は、バッテリーを電動アシスト自転車から外し、次回使用するときまで密閉された場所で保管してください。
電動アシスト自転車用バッテリーの保管に適した場所：
- 露天状況のある室内
- 可燃物や燃え上がりやすい物が近くにならない場所
- 熱源が近くない場所
バッテリーの保管適温は0℃〜20℃の間です。
-10℃以下、または60℃以上の温度では推奨しないことを推奨します。
保管温度の上限を越えないよう十分注意してください。
電動アシスト自転車用バッテリーは車庫に乘せたままにしたり、長時間直射日光にさらさないでください。
バッテリーを電動アシスト自転車に取り付けたまま保管する（放置する）場合は推奨できません。

お手入れと保管
保守と清掃
バッテリーを水に浸けたり、高圧洗浄機で洗い流したりしないでください。
バッテリーは清掃をしない状態で保ってください。清掃は、水気を含んだ柔らかい布を使って丁寧に行っください。
バッテリーの清掃は、グリースの塗布をとどきどき塗布し、グリースを塗布しておきます。
バッテリーの寿命が短くなるバッテリーの廃棄方法は、自転車の販売店にてご相談ください。

カスタマーサービス及び使用方法のご相談
バッテリーに関するご質問については、ご購入の自転車販売店にお問い合わせください。
カギのメーカー名と番号(3)をメモにしておいてください。カギを紛失した場合は、ご購入の自転車販売店にてお問い合わせください。その際、カギのメーカー名と番号を伝えてください。
自転車の販売店の連絡先は、WEBサイトのwww.bosch-eBike.comにて確認することができます。

輸送
電動アシスト自転車を自動車で運ぶ際、車両に積まず、車外のラゲージキャリアに載せて運ぶ場合は、損傷を防ぐために、ボードコンピューターやバッテリーを運送する際、電動アシスト自転車から取必要があります。

ポッシュのバッテリーは各国の危険物規制規則の条項に準拠しています。
バッテリーの運送は、外装に損傷がない場合ののみ許可されます。露出した端子面をテープなどで覆い、梱包内でバッテリーが動かないようにしてください。また、内容物がリチウムイオンバッテリーであることを輸送業者に伝えてください。また、その他の地域の規定にも注意してください。
バッテリーの輸送に関する詳細は、自転車の販売店にお問い合わせください。バッテリーの輸送用梱包材を自転車の販売店経由で入手することもできます。

廃棄
不要になったバッテリー、アクセサリーと梱包材は、環境に適した方法でリサイクルしてください。
バッテリーを廃棄する前に、電極の接触面を覆うために粘着テープを貼ってください。
電動アシスト自転車用バッテリーがほどく損傷している場合は、決して素手で触れないでください。
電解液が漏れ出し、皮膚がかれるおそれがあります。不具合のあるバッテリーは、屋外の安全な場所に保管してください。その場合も、電極を覆い、最寄りの販売店に連絡してください。販売店から、適切な方法で廃棄処分するためのアドバイスが得られるはずです。
使用できなくなった電気/電子機器および故障または使用済みのバッテリー/電池は、それぞれ欧州指令2012/19/EUと2006/66/EGに従い、分別回収と環境に適した再利用が規定されていま
す。
使用しなくなったバッテリーの廃棄方法は、自転車の販売店にご相談ください。
リチウムイオン：
(参照：輸送・ページ日本語－4)の項に記載されている指示に注意してください。
予告なく変更する場合があります。
Standard Charger

---

**eBike Battery Charger 36-4/230**
0 275 007 907
Input: 230V ~ 50Hz 1.5A
Output: 36V 4A
Made in [Robert Bosch GmbH, Reutlingen]

**Standard Charger BCS220**
Li-Ion
Use ONLY with BOSCH Li-Ion batteries

---

警告
- 使用前には、必ず取り扱い説明書をお読みください。
- 指定のボッシュリチウムイオンバッテリー以外の充電器に使用しないでください。
- 高温場所や水に濡らしたり、蒸気の多い場所で使用しないでください。
- 湿やぬれた物の上に使用しないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 使用前にはコードの損傷を確認し、コードが損傷した物は使用しないでください。
安全上の注意事項

電動アシスト自転車に関する注意事項

充電時に注意してください。

充電器およびバッテリーの使用時に注意してください。

電動アシスト自転車の使用時に注意してください。

製品と仕様について

本書に記載された機能のほか、不具合の修正や機能の拡充のためにソフトウェアが更新される場合があります。

各部の名称

記載のコンポーネントの番号は、本書冒頭のページにある構成図の番号に対応しています。

本取扱説明書に記載されている内容は、電動アシスト自転車の仕様に応じて実際の装備と異なる場合があります。

（1）充電器
（2）充電プラグ用差込口
（3）充電プラグ
（4）充電器に関する安全上の注意事項
（5）充電プラグ
（6）充電プラグ用差込口
（7）充電プラグ用差込口のカバー
（8）リアバックパッテリー
（9）動作 / 充電レベルインジケーター
（10）バッテリーのON/OFFスイッチ
（11）標準バッテリー
テクニカルデータ

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>製品コード</td>
<td>BCS220</td>
<td>BCS212</td>
<td>BCS230</td>
</tr>
<tr>
<td>定格電圧</td>
<td>V&quot;</td>
<td>207〜264</td>
<td>90〜264</td>
</tr>
<tr>
<td>周波数</td>
<td>Hz</td>
<td>47〜63</td>
<td>47〜63</td>
</tr>
<tr>
<td>バッテリー充電電圧</td>
<td>V&quot;</td>
<td>36</td>
<td>36</td>
</tr>
<tr>
<td>充電電流（最大）</td>
<td>A</td>
<td>4</td>
<td>4</td>
</tr>
<tr>
<td>充電時間</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>- PowerPack 300、約</td>
<td>時間</td>
<td>2.5</td>
<td>2.5</td>
</tr>
<tr>
<td>- PowerPack 400、約</td>
<td>時間</td>
<td>3.5</td>
<td>3.5</td>
</tr>
<tr>
<td>- PowerPack 500、約</td>
<td>時間</td>
<td>4.5</td>
<td>4.5</td>
</tr>
<tr>
<td>動作温度</td>
<td>0〜+40</td>
<td>0〜+40</td>
<td>0〜+40</td>
</tr>
<tr>
<td>保管温度</td>
<td>+10〜+50</td>
<td>-10〜+50</td>
<td>-10〜+50</td>
</tr>
<tr>
<td>質量、約</td>
<td>kg</td>
<td>0.8</td>
<td>0.8</td>
</tr>
<tr>
<td>保護クラス</td>
<td>IP40</td>
<td>IP40</td>
<td>IP40</td>
</tr>
</tbody>
</table>

本記載内容は、定格電圧[U]が230Vの場合です。電圧や国別の仕様が異なると、数値も多少変動することがあります。

電源コード

<table>
<thead>
<tr>
<th>部品番号</th>
<th>オーストラリア</th>
<th>日本</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>270 020 344</td>
<td>1 270 020 332</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>定格電圧 - 電源コード</td>
<td>V&quot;</td>
<td>300</td>
</tr>
<tr>
<td>定格電圧 - 電源プラグ / コネクター</td>
<td>V&quot;</td>
<td>250</td>
</tr>
<tr>
<td>定格電流 - 電源プラグ / コネクター</td>
<td>A</td>
<td>10/2.5</td>
</tr>
<tr>
<td>材料 - 電源コード</td>
<td>PVC</td>
<td>PVC</td>
</tr>
<tr>
<td>安全規格 - 電源コード</td>
<td>AS/NZS 3191</td>
<td>JIS C3304</td>
</tr>
<tr>
<td>安全規格 - 電源プラグ / コネクター</td>
<td>AS/NZS 3112</td>
<td>JIS C8303</td>
</tr>
<tr>
<td>AS/NZS 3109</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>全長、約</td>
<td>m</td>
<td>1.5</td>
</tr>
</tbody>
</table>

操作

使用方法

充電器を電源に接続する（図Aを参照）

| 電源電圧に注意してください！充電器のラベルに表示されている電圧の電源を使用してください。230Vと記載されている充電器の場合は220Vでも使用することができます。

電源コードのACプラグを電気のACプラグ差込口に差し込みます。
| 事前仕様の電源コードは電源に接続します。

取り外したバッテリーを充電する（図Bを参照）

| バッテリーをオフにし、電動アシスト自転車のホルダーからバッテリーを取り外します。その際、バッテリーの取扱説明書をよく読み、その指示を守ってください。

バッテリーは必ず清潔な場所に置いてください。

充電器の充電プラグ(5)をバッテリーの差込口(6)に差し込みます。

バッテリーを充電する際、安全上の注意事項を必ず守してください。内容を順守できない場合には、ボルターからバッテリーを取り外し、より適した場所で充電を行ってください。その際、バッテリーの取扱説明書をよく読み、その指示を守ってください。

2個組みバッテリーバックの充電プロセス

バッテリーを2個組みで搭載している電動アシスト自転車の場合、ロックされていない接続部でバッテリーを充電することができます。2つのバッテリーは約
故障かな？と思ったら - 原因と対処

<table>
<thead>
<tr>
<th>原因</th>
<th>対処</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>バッテリーのLEDが2個点滅します。</td>
<td>自転車の販売店にお問い合わせください。</td>
</tr>
<tr>
<td>バッテリーが損傷している</td>
<td>バッテリーのLEDが3個点滅します。</td>
</tr>
<tr>
<td>バッテリーの温度が高くすぎる、または低すぎる</td>
<td>充電可能温度範囲になるまで、バッテリーと充電器の接続を外してください</td>
</tr>
<tr>
<td>充電可能温度になったら、バッテリーと充電器を再度接続してください。</td>
<td>LEDがついても点灯しない（電動アシスト自転車用バッテリーの充電レベルに応じて、通常は1つ以上のLEDが点灯する）。</td>
</tr>
<tr>
<td>充電レベルが充電できない。</td>
<td>自転車の販売店にお問い合わせください。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

充電プロセスが始まらない（バッテリーの表示もない）

| 電源プラグが正しく差し込まれていない | プラグを確認してください |
| バッテリーの接続部が汚れている | バッテリーの接続部を丁寧に清掃してください |
| コンセント、電源コード、または充電器が故障している | 電源電圧を確認し、自転車の販売店に充電器の点検をご依頼ください |
| バッテリーが損傷している | 自転車の販売店にお問い合わせください |

お手入れと保管

保守と清掃
電動車に不具合が生じたときは、自転車を購入した販売店に連絡してください。

カスタマーサービス＆使用方法のご相談
電動車に関するご質問については自転車の販売店にお問い合わせください。
自転車の販売店の連絡先は、WEBサイトのwww.bosch-eBike.comで確認することができます。

廃棄
電動車、アクセサリーと梱包材は、環境に適した方法でリサイクルしてください。

Bosch eBike Systems

0 275 007 XCC (23.04.2018)
EU域内のみ：
使用できなくなった充電器は、電気/電子機器に関する欧州指針2012/19/EUおよび国内法に基づいて分別回収し、環境に適合した方法でリサイクルしてください。
予告なく変更する場合があります。
問い合わせ先

住所と電話番号:
トレックジャパン株式会社
大井出町7-28
兵庫県西宮市
〒662-0036
電話番号: 0798-74-9060
ウェブサイト: www.trekbikes.com

Electra Japan
Rainbow Products Japan
8096 Ohba Fujisawa-city Kanagawa
Japan 251-0861
電話番号: 81 466 30 4755
ウェブサイト: www.electrabike.com

サービスや保証に関しては、お近くの販売店へご連絡ください。

本マニュアルの最新版は、トレックのウェブサイト（メニュー/サポート）でご覧ください。
最新版マニュアルに記載されている新機能は、お乗りのRIDE+バイクに該当しない場合がございます。

P/N 581073HD-581074GEV Rev A, July 2018
© 2018 Trek Bicycle Corporation. All rights reserved.